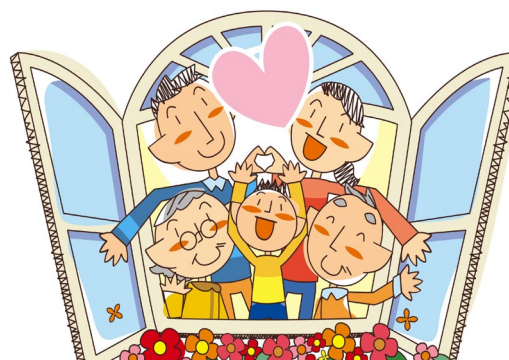


がんによる苦痛をやわらげる

『緩和ケア』ってなに？



がんは、日本人の死因で最も多い病気です。現在、3人に1人ががんで亡くなっています。このように身近な病気になった、がん。あなたの大切な方も、がんで悩んでいるかもしれません。がん患者さんは、がん自体の症状のほかに、痛み、倦怠感などのさまざまな身体的な症状や、落ち込み、悲しみなどの精神的な苦痛を経験します。「緩和ケア」は、がんと診断されたときから行う、身体的・精神的な苦痛をやわらげるためのケアです。

「緩和ケア」という言葉に、どのようなイメージを持っていますか？

「がん治療ができなくなった方への医療」「がんの終末期に受けるもの」と思っている方も、まだまだ多いようです。

緩和ケアは、がん治療の初期段階から、がん治療と一緒に受けることができます。

これが 緩和ケア

苦痛のせいで日常生活やがん治療自体が困難となる場合があります。緩和ケアはがん治療を充実させる大切なケア。苦痛が緩和されれば、おだやかな時間を取り戻せます。

緩和ケアを受けると、こんなメリットがあります。

- がん治療中に経験する苦痛を伴う症状(吐き気、嘔吐、痛み、倦怠感など)が緩和され、がん治療に取り組む力がわいてきます。
- 患者さんやご家族の不安や心配事など、心のつらさをやわらげるために緩和ケアのスタッフがお手伝いをします。

緩和ケアは、がんと共生することを可能にします。



《よくあるご質問》

Q 日大病院では、緩和ケアを目的とした入院はできますか？
また、地域の医療機関から、緩和ケア外来への患者紹介は可能ですか？

A 当院には緩和ケア病床はありません。
緩和ケア病床入院には、今のところ対応しておりません。
お問い合わせの「緩和目的の入院」が、緩和治療の開始や調整のための入院でしたら、その患者様の主診療科への入院で対応いたしております。また、外来についても当院に入院されていた患者さんが対象となります。

当院には、緩和ケアチームがあり、入院患者さんに対応しています。チームメンバーは、医師、認定看護師（がん性疼痛・緩和ケア・化学療法看護）、薬剤師、臨床心理士で構成しており、各病棟で主治医や看護師からの依頼を受けて活動しています。



日本大学医学部附属板橋病院 がん相談支援センター
〒173-8610 東京都板橋区大谷口上町30-1
TEL: 03-3972-0011(直通) 0570-01-8111 (ナビダイヤル) 内線 3169